

長坂

真理の鐘の鳴り響く

平戸市立生月中学校
学校だより 第11号
(令和3年 9月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

県独自の「緊急事態宣言」解除、「特別警戒警報」へ移行！ ～ 感染防止対策の継続を ～

8月19日から県下全域に発令されていた県独自の「緊急事態宣言（感染ステージ5）」が9月12日で解除となり、13日から「特別警戒警報（感染ステージ4）」へ移行されました。この間、学校の取組と生徒の皆さんの自覚ある行動、そして保護者の皆様のご協力のおかげで、本校の関係者から感染者等が出ることはありませんでした。「みんなの思いが一つになる、みんなで力を合わせる」ことの大切さを感じました。しかし、まだまだ警戒が必要な状況です。

学校では、宣言期間中、感染防止対策を最大限に強化（「レベル3」の対応）しておりましたが、現在は、「レベル2」の対応に戻しております。ご家庭でも、これまで同様、感染防止対策の継続をお願い致します。

なお、具体的な対策等については、9月3日付の配布文書でお知らせしておりますので、ご確認ください。



「実りの秋」を迎えて ～ 日々の授業等でICT機器の活用が進んでいます ～

第2学期がスタートして約2週間が過ぎました。「実りの秋」を迎えて、コロナ禍での制約はありますが、本校の教育活動も充実してきています。特に、本年度から本格導入された1人1台の「タブレット端末（クロムブック）」の活用や、デジタル教科書、実物投影機などのICT機器の活用が進んでいます。授業の様子を参観してみると、子ども達にとってICT機器を使った授業は、より関心・意欲が高まり、「主体的で対話的な学び」になっているように感じます。また、本校の先生方も、子ども達のために、より良い授業を目指してICT機器を積極的に活用しようとされています。先生と生徒が、思いを一つにして、教育活動に取り組んでいることを、大変うれしく思います。

2学期、日々の授業はもとより、学校行事や日々の係活動・生徒会活動、部活動等を通じて、生徒一人一人が心身ともに大きく成長してくれることを期待しています。



これからも、より良い教育活動を目指して ～ 令和3年度 第1回 学校評価の結果から ～

7月にアンケートにご協力いただいた今年度の「第1回 学校評価」の集計が完了しました。結果のお知らせが遅くなりましたが、集計結果を裏面に掲載しています。今年度は、生徒・保護者・教師のそれぞれの評価を比較しやすいように、評価項目の文言を一部変更しましたが、全体的には、昨年度より、さらに良い評価をいただくことができ、校長として大変ありがたく思っております。

しかし、細かく見ていくと、まだまだ不十分な点や改善しなければならない項目もあります。今後、職員会議で、全教職員で結果についての確認と考察を行います。今回の学校評価から把握できた成果や課題を、今後の本校の教育活動に生かし、生徒の皆さんや保護者の皆様とともに、「明日も学びに行きたくなる学校」を目指していく所存です。今後ともご理解とご協力・ご支援をお願いします。